

# 火の用心

～ 狹山市消防団通信 ～

回覧

狹山市消防団広報誌

平成22年11月10日発行

発行：狹山市消防団

編集：狹山市消防団広報担当



消防本部にて記念撮影

新入団員

【1分団】 宮木紀人 橋本直也	【2分団】 田村 博 秋庭弘吉	【3分団】 加藤優弥 本橋利信 集貝公宣 橋本亮輔 川井康次
【5分団】 吉崎正希 市川竜介 今西大雅 池田 旭	【6分団】 笹本英輔 松澤一平 金子裕治 並木一成 松岡祐介	
【7分団】 岩崎 豊 細田哲也		

活動服のちがい



消防団員

消防署員

今年度狹山市消防団では20名の新入団員を迎えることができ、それに伴い入団式を消防本部において4月4日(日)に挙行いたしました。

仲川市長をはじめ来賓の方々から激励の言葉をいただき、新入団員のみなさんは、緊張の面持ちで団長より消防団員としての辞令を受けました。

## 平成二十二年入団式

各市町村には消防機関として、①消防本部、②消防署、③消防団があります。

①と②は常備消防、③は非常備消防とも呼ばれています。

消防本部では、職員研修、消防予算、建築確認の同意、訓練・演習の企画などの様々な業務を行い、また、消防署では第一線の活動部隊として役割を果たし、火災、救急、救助などの各種災害に直接携わるとともに、応急手当等の普及啓発、通信指令業務及び火災予防活動などの業務にも従事しています。

そして我が消防団は普段は自分の仕事を持つ有志によって組織されており、ボランティア的精神が強い組織ですが、市町村の公的な消防機関であり、消防署と協力して地域住民を火災をはじめあらゆる災害から守るという献身的な働きをしながらその活動は代価を求めない奉仕の精神です。

しかし、奉仕の精神に基づく活動とはいえ消防団の活動は危険を伴うため、市町村はその苦労に報いるため各種の待遇が講じており、消防団員は法律に基づいて「非常勤の特別職地方公務員」という身分が与えられています。

狹山市では現在296名の消防団員が活動しております。

## 消防団員と消防署員の違い

# 消防団員募集中!

詳しくは [狹山市消防団](#) で 検索 GO !



詳しくはこちらへアクセス

皆様に知っていたたく機会となりました。

「入間川七夕まつり」が開催されました。消防団活動としては、例年通り巡回・定点警備や初日に行われる花火大会の警戒など、お祭りの安全な運営に協力しました。

また、昨年から消防団PR活動の一環として、七夕飾りの出展や社会福祉協議会の駐車場にブースを設置し、消防団活動の紹介や、子供用防火衣を着て消防車に乗り写真撮影をするなど、子供達やご家族の方々の防火意識の向上を図るとともに、消防団活動を市民の

## 七夕まつり

平成22年8月7日(土)・8日(日)に「入間川七夕まつり」が開催されました。消防団活動としては、例年通り巡回・定点警備や初日に行



新富士見橋



柏原地区 柏原中学校会場にて

いた応急処置訓練や水消火器を使つた初期消火訓練、毛布などで担架を作る搬送訓練などの指導を担当しました。当日は気温35度を超える厳しい暑さの中でしたが、多くの市民の皆さんのが参加され、熱心に質問する場面も見られ、防災に対する関心度の高さを感じられました。

私たちは消防団員は、三角巾を用いた応急処置訓練や水消火器を使つた初期消火訓練、毛布などで担架を作る搬送訓練などの指導を担当しました。当日は気温35度を超える厳しい暑さの中でしたが、多くの市民の皆さんのが参加され、熱心に質問する場面も見られ、防災に対する関心度の高さを感じられました。

「ウゥウウ」夜中、消防小屋のサイレンが鳴ると、飛び起きます。すぐ近くに小屋があるため、地面が震えるような低い音が体に伝わり、普段ほとんど夜中に目覚めることのない私もこの音が聞こえると、パッと目が開き、気持ちが引締ります。主人もすぐに起き、素早く支度をします。

「いってらっしゃい。気をつけてね。」心から思います。このようなことが、結婚以来もう何回あつたでしょうか。「自分が生活している地域の安全を守り、何よりも人とのつながりができ、それに自分自身を鍛えることになる。」と主人は言っています。私も、今まで幸せいに生きてこられたのも、周りの人あってのことだと思っておりますので、周囲の人あってのことだと思っておりますので、理なくやつしていくのが地域活動。と考えています。

お陰様で、主人と私は、消防団の活動を通して、本当に多くの方々にお世話になり、また知り合うことができ、たくさんのこと学ばせていただきました。また、主人は、本業との両立のため時間有効に使うことが自然に身についたようです。時間には、とても厳しいです。(他にも、色々厳しいですが……)

消防団は、地域の人々の生命や財産を守る大切な任務を任されています。私は、これからも消防団員の家族として、陰ながらその活動を支えてい

ました。

地区における大地震の発生と台風の接近を想定した狭山市総合防災訓練が市内5箇所の小中学校と74箇所の自治会個別会場にて行われました。

## 防災訓練

**特別寄稿 消防団員の家族として**

伊藤 真理子



平成22年11月27日(土)に狭山市消防団特別点検が、午前8時30分より柏原運動公園にて行われます。市民の皆様もお気軽に見学に来て下さい。



## お知らせ

### 編集後記

広報委員会を立ち上げ今年で2年目

となり、本年は広報誌「火の用心」を2回発行いたします。

今号は消防団の存在意義を考えるところから始まりました。

現在定員を満たしていない現状があり、「火の用心」を一人でも多くの方の目にとめていただき、より多くの方に入団していただけたら幸いです。

### 広報委員

岩城 利治	柏谷 紀仁	立川 信幸	内田 欣一
岸本賢一郎	指田 太	岩田 洋樹	
山下新之助	小田 裕一	浅見 宗一	